

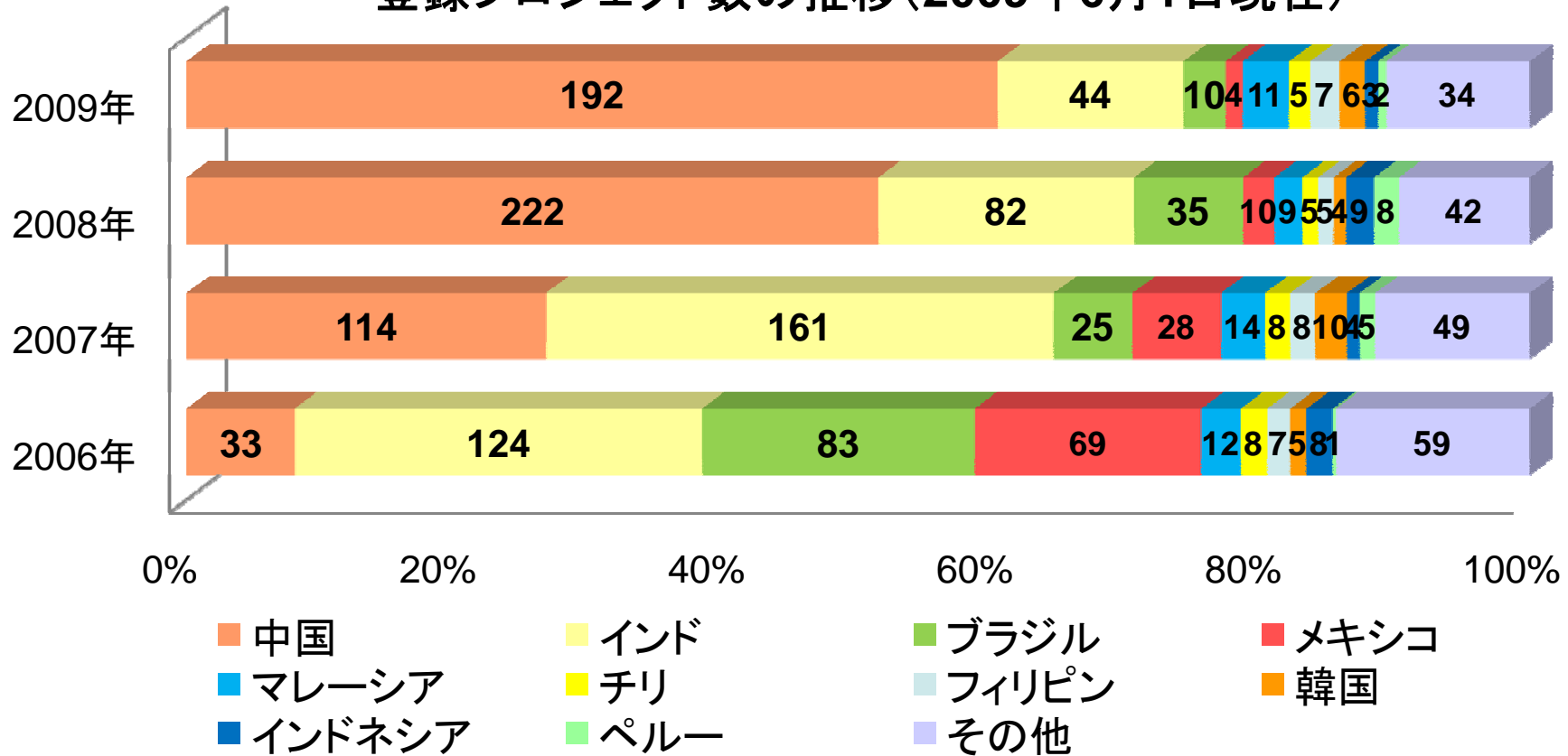
CDMプロジェクトの現状と見通し - IGES CDMプロジェクトデータベースより -

弥富 圭介

市場メカニズムプロジェクト/気候変動領域
(財)地球環境戦略研究機関 (IGES)

CDMの現状 (1)

登録プロジェクト数の推移(2009年6月1日現在)

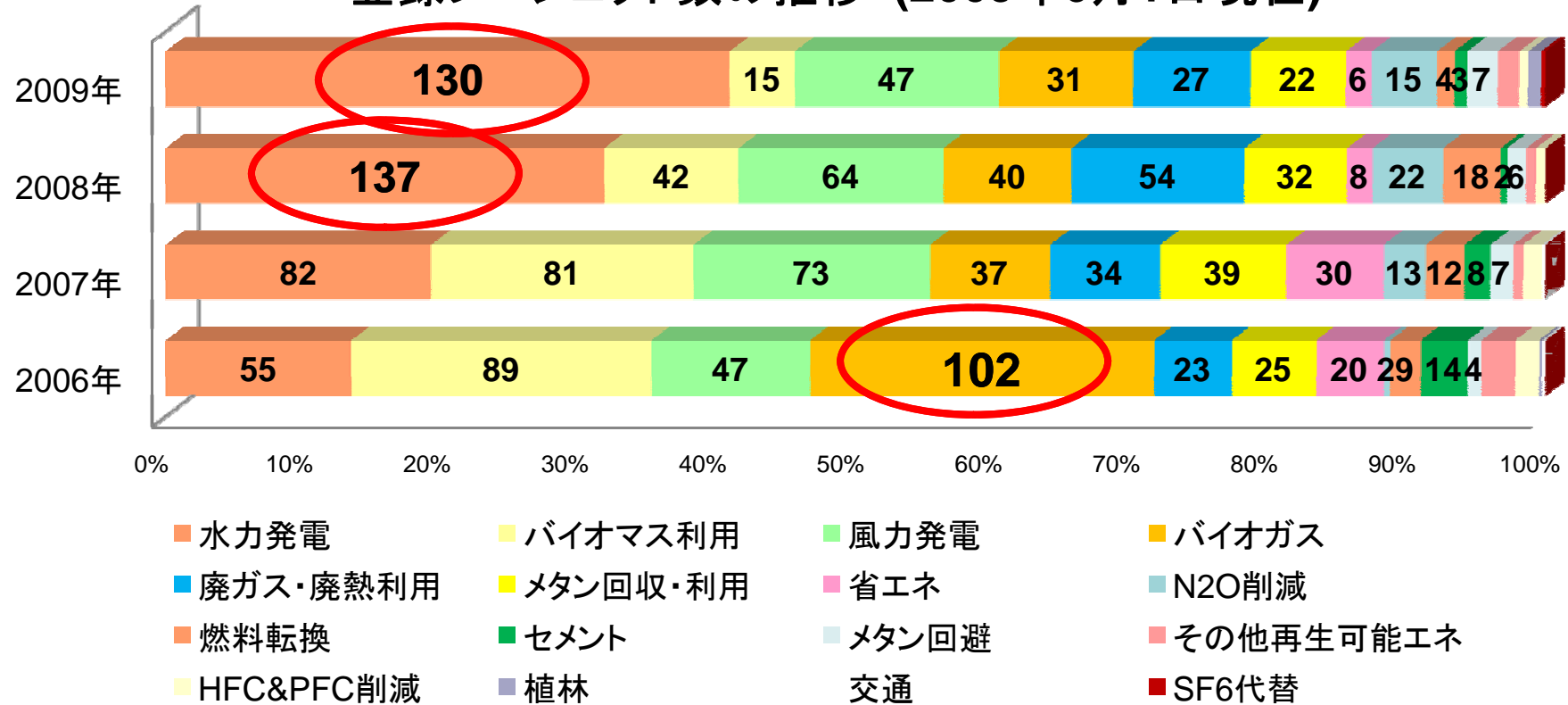


IGES CDM プロジェクトデータベース (2009年6月1日)

- 強まる中国一辺倒の傾向(件数、削減量ともトップに)
- 遅々として進まないCDMの地理的不均衡の改善

CDMの現状 (2)

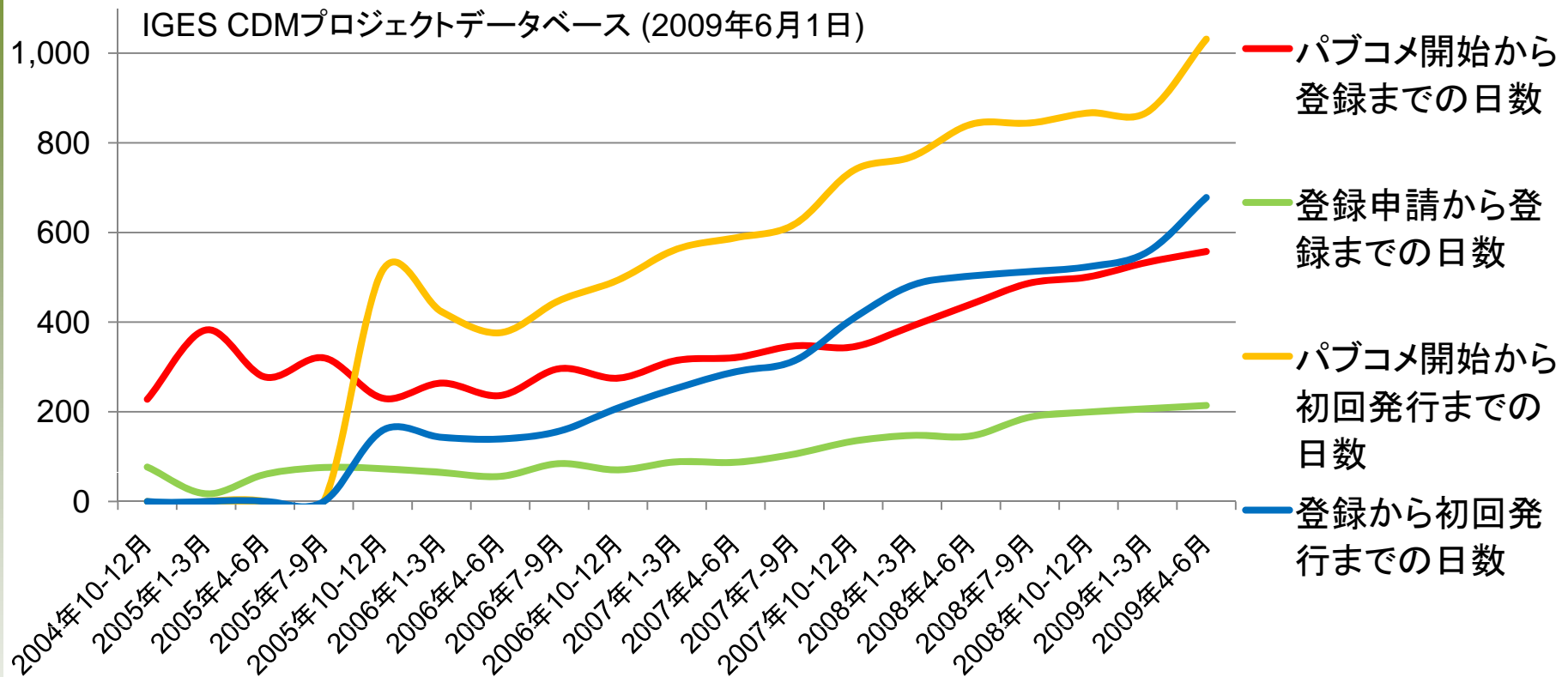
登録プロジェクト数の推移 (2009年6月1日現在)



IGES CDMプロジェクトデータベース (2009年6月1日)

- 水力発電は年々増加する一方、バイオマス及びバイオガスは減少傾向
- バイオガス案件の落ち込みは方法論と深い関係性あり

CDMの現状 (3)



序々に長期化するCDM手続きの影響

- ✓バリデーション及び登録に係る作業負荷の増加
- ✓プロジェクト・サイズの縮小またはプロジェクトの遅延に因るクレジット発行に至る未収入期間の長期化
- ✓登録及び各クレジット発行に係る取引コストの増加

CDM手続きの長期化の要因

□ 再審査の手続き が登録を著しく遅らせる

	再審査なし	要請のみ	再審査の実施
パブコメ開始から登録までにかかる平均日数	338	458	555
登録申請から登録までにかかる平均日数	93	192	259

IGES CDMプロジェクトデータベース(2009年6月1日)

□ 再審査の確率 は近年更に上昇中

登録年	登録件数	うち要請を受けた件数	被要請率 (%)	うち再審査された件数	被再審査率 (%)
2006	409	50	12.2	6	1.5
2007	426	110	25.8	16	3.8
2008	431	194	45.0	79	18.3
2009	318	132	51.3	46	19.5

IGES CDMプロジェクトデータベース (2009年6月1日) 5

事業者サイドの負担の増加

□ 登録及び発行に係る手続きの現状

✓ 理事会から待たがかかることが日常化しつつある

✓ クレジットの収入が目減りする一方、取引コストは増加

⇒ 現状のCDMサイズを鑑みた取引コストの減少と
更なる手続きの簡素化必要

□ CDMの適格性を満たすための追加性の証明

✓ 書類の追加作成及び証拠書類の追加提出が当たり前

✓ 理事会のいくつかのコメントは必ずしも本質的でない

⇒ 追加性の評価・手続きの改善によって事業者の
負担の軽減は可能

2020年までの排出量予測

登録プロジェクトからの2020年までの排出削減予測量

- シナリオ 1: クレジット発行率(プロジェクト毎) - **81.1%**
- シナリオ 2: ベースラインの更新(8件) - **94.0%**
- シナリオ 3: F-gas及びN₂O削減プロジェクトのクレジット期間更新なし
- シナリオ 4: 排出削減簡易計算シートの採用 - **105%**
- シナリオ 5: 全シナリオの混合(シナリオ1-4)

